

GCUSの今後の活動に向けた課題と対応(案)

GCUS活動目的	課題	対応(案)
<p>① <u>世界の水・衛生問題等の解決に向けた国際貢献</u></p> <p>国及び地方公共団体等の国際協力活動、国際交流活動を支援しつつ、世界の水・衛生問題や地球温暖化問題の解決に貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 途上国での汚水管理への低い意識・投資優先順位(財政不足) ● 下水道整備に必要な人材不足、相手国機関の運営能力不足 ● 個別具体のプロジェクトによらない長期的で顔の見える関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● Post-MDGに排水管理に関する目標が設定されるよう汚水管理を「主流化」する ● 汚水管理に関する人材育成の促進(研修の拡充、研修機関設立など) ● 地方公共団体(WES-Hub)の海外展開(JICA草の根技協、ADB-WoPsの活用等) ● 大学/研究機関間連携による課題解決型の継続的關係構築
<p>② <u>下水道関連企業のビジネス展開支援</u></p> <p>海外のビジネス展開に意欲的な下水道関連企業を学官が強力に支援し、我が国の下水道界の活性化にも貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格競争力 ● 技術ニーズのギャップ ● 海外事業運営経験不足 ● 相手国技術者の技術力不足による本邦技術導入の停滞 ● 発注仕様への本邦技術のインプット ● 高リスクな新設案件(用地、遅延、ファイナンス等) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地/他国企業との連携・提携支援(政府間/下水道協会間ネットワーク活用) ● 技術評価/LCCを考慮した入札導入促進 ● 低コスト技術開発のための現地実証支援 ● 下水道クイックプロジェクト採用技術の活用 ● 国内でのPPP/PFI活用による実績構築 ● ISO55001の取得 ● 人材育成サービス(研修)提供(付加価値) ● JICA円借款事業等の設計段階におけるコンサルタントとメーカーとの連携強化 ● 維持修繕・改築更新案件からの事業参入
<p>③ <u>国内下水道施策への還元</u></p> <p>海外での活動成果を、我が国の地方公共団体に還元し、新たな下水道施策の展開に反映。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内事業に係る課題(財政制約、組織力の低下)の増大 ● 自治体の海外活動への積極的参画の進展と、その活動意義に対する説明責任 ● 国内外の基準類のギャップ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外向けの低コスト技術開発の逆輸入 ● ICTを活用した下水道システムの国内外一括維持管理 ● 海外プロジェクト実施機会を活用した地方公共団体の若手技術者育成 ● ISOのJIS化